

主催者向け

IBワークショップの開催に係る特例措置について

文部科学省は、国際バカロレア機構と協議の結果、2018年3月まで、国際バカロレアの認定校となるために受講が必要なワークショップについて、一定の要件のもと、受講料を無料とする措置を行うことと致しました。

無料となるワークショップ

プログラム	ワークショップ名	受講が必要な時期	対象者
管理者/コーディネータ向けワークショップ			
DP	Administrators	候補校申請前	学校管理者
DP	Coordination	認定前	コーディネータ
MYP	Heads/Coordinators ^{※3}	候補校申請/認定前	学校管理者及びコーディネータ
PYP	Introduction to the Programme Standards for Administrators	候補校申請前	学校管理者
IBへの理解を深めるためのワークショップ			
共通	Governance: Introduction to the IB for school owners and board members	任意	教育委員会、学校管理者など
DP	Bringing the DP to the Community (1 day)	任意	全員
DP	Academic Honesty (1 day)	任意	コーディネータ、教員、司書など
MYP	Launching the MYP (Optional 1 or 2 days)	認定前	全教職員
MYP	Orientation to the MYP for the Community (1 Day)	任意	全員
各教科（授業手法含む）に関するワークショップ			
DP	Theory of Knowledge	認定前	担当教員
DP	Creativity Action and Service	認定前	担当教員
DP	Japanese A: Literature	認定前	担当教員
DP ^{※4}	English B (delivered in English)	認定前	担当教員
DP ^{※5}	Visual Arts	認定前	担当教員
DP ^{※5}	Music	認定前	担当教員
DP ^{※5}	History	認定前	担当教員
DP ^{※5,6}	All other DP subjects which can be taught/examined in Japanese: eg. Physics, Chemistry, Biology, Economics, Geography, Maths HL, Maths SL, Maths Studies.	認定前	担当教員
MYP	All '<subject> implementing the MYP' workshops: Language & Literature, Language Acquisition, Individuals & Societies, Sciences, Mathematics, Arts, Design, Personal & Health Education	認定前	各教科の担当教員最低一人
PYP	Introduction to the PYP Curriculum Model	認定前	全教員
PYP	Making the PYP Happen in the Classroom	認定前	全教員（PYP開始後6ヶ月を経過した学校が対象）

※1 特段の記載や注釈がない場合は、日本語で実施する3日間のプログラムです。 ※2 英語で実施することも主催を希望する団体の申請により可能です。 ※3 学校管理者は候補校申請までに、コーディネータは認定までに受講する必要があります。 ※4 英語で実施します。 ※5 二言語併用（日/英）で実施（英語話者のWSリーダーと日本語話者のサポートティーチャーによる）します（平成28年5月時点）。 ※6 上記以外のワークショップに関しても、プログラムの実施やIBの理解を支援する上で必要性が認められれば、開催を検討する可能性があります。

主催するには・・・

無料ワークショップの主催をお考えの場合、まず文科省（ib-nyushi@mext.go.jp）にその旨の表明を行うと同時に、IB機構（quincy.kameda@ibo.org）にいつ/どこで/どの教科科目のワークショップを開催したいかを記載しお送りください。（原則として希望する日程の3ヶ月から5ヶ月前までにお知らせください。）

主催を希望する団体は、以下の条件を満たす必要があります：

- 団体にIB機構及び実施会場と密に連絡が取れるコーディネータ（日本語及び十分な英語能力（読み書き）を有すること。）を置くこと。
- 各ワークショップにおいて最低でも10名の参加者を確保すること。
- 団体に地域の学校に対する連絡、ワークショップの意義や目的を説明し、教員に対し応募を促す者を置くこと。
- IB機構と調整の上必要な予算を計上できること。（必要となった全ての経費は承認された後IB機構から払い戻されます。）
- IB機構との連絡や登録手続きのためにインターネットへのアクセスが確保されていること。（例えばGoogle Docsによる文書共有が可能であること。）
- 団体において、ワークショップの詳細な記録を行い、文科省の要請によりそれを提供すること。

会場の要件

一般的にワークショップは学校や類似の研修施設で行われます。会場となるには以下の条件を満たす必要があります：

- ワorkshopを実施するためのIB機構からの指示条件を守ることができること。
- 交通機関及び宿泊先（ワークショップリーダー及び参加者の一部が宿泊するため。）へのアクセスが便利であること。
- ワorkshopリーダーと参加者に対し必要なインターネットアクセスを提供すること。

※ 主催団体と開催会場が異なり、連携してワークショップを実施する場合は、開催会場においてもコーディネータの設置や、インターネットによるIB機構との連絡手続きが必要な時があります。

この他、無料ワークショップに関する詳細については、IBのウェブサイトに掲載されている文書をご参考ください。

<問合せ先>

文部科学省大臣官房国際課

国際協力企画室外国人教育政策係

(TEL: 03-6734-3222 E-mail: ib-nyushi@mext.go.jp)